

陸のミツバチ、海のサンゴを守る 沖縄の村役場に養蜂箱 持続可能な赤土対策へ

2019年10月11日 05:00

2018年に「サンゴの村宣言」し、今年7月に「SDGs（持続可能な開発目標）未来都市」に選定された沖縄県恩納村（長浜善巳村長）は4日、ミツバチを使って赤土など流出からサンゴを守る「ハニー&コーラル・プロジェクト」の一環で村役場屋上に養蜂箱を設置した。養蜂業を広めることで、赤土対策の課題だった事業の持続性の確保を目指し、さらに観光資源としても活用する方針だ。



養蜂箱の設置を喜ぶ関係者＝4日、恩納村役場

海に流れ込む赤土は、全体流出量の8割を農地が占めるという現状がある。村はグリーンベルト植栽などによる赤土対策を実施するも補助には限りがあり、事業の持続性が課題だった。

そこで同村農業環境コーディネーターの桐野龍さんは「緑肥からの採蜜」に着目。農産物収穫後の農地に緑肥作物を植え、養蜂業で得た利益を次年度の緑肥種子の代金に充てることで、持続的な対策ができると考え、取り組みを始めた。

本年度は50キロの採蜜と商品化、2ヘクタールの蜜源緑肥を目指すほか、農家への養蜂講座などで普及に努める。花畑を増やすことで観光資源として活用し、ミツバチを介した環境学習も実施する方針だ。

同プロジェクトには沖縄科学技術大学院大学（OIST）も携わる。ミツバチを攻撃し、被害を及ぼすダニの生態解明に取り組んでおり、村や農家と連携しながら研究を進めていく。

長浜村長は「持続可能な赤土対策になればと期待している。花を植えることで、きれいな景観を観光客にも見てもらいたい」と話した。

キーワード

[環境](#)
[サンゴ](#)
[SDGs](#)
[持続可能な開発目標](#)
[恩納村](#)
[ミツバチ](#)
[赤土](#)

[沖縄科学技術大学院大学](#)
[OIST](#)



[電子版お申し込み](#)

[電子版とは](#)

[紙面を読む](#)

沖縄タイムスのイチオシ

[「この本を読みましょう」おすすめ図書](#)
 大手6出版社のおすすめ図書を紹介。県内書店でぜひ手に取ってください。

[タイムス住宅新聞社](#)
 沖縄の、住まいと暮らしにちょっとした『プラス』を。

[第72回沖縄 12部門作品募集](#)
 県内最大の美術・工芸公募展「沖縄」の公式サイトをリニューアルしました。作品募集要項を入手できます。

[「社告」一覧](#)

アクセスランキング

[ニュース](#)
[解説・コラム](#)

24時間

1週間

バイクと車が衝突 高校生2人意識不明
 2019年10月16日 08:38

自民の報道「圧力」に記者ら反発 委縮は知る権利奪う
 2019年10月16日 13:48

沖縄でオーストラリア人の男を逮捕 コカイン密輸の疑い
 2019年10月16日 05:00

「クソ田舎もんが調子にのるな」ブラックバイト、払われない給料の実態
 2019年8月24日 09:01

「車が怖い…」1m先も見えない視力、“危険”なゴミ出し 困る85歳に助け舟
 2019年10月15日 11:08

[アクセスランキング 一覧](#)

注目トピックス

[大久保寛司が語る人と経営みらい塾](#)
 お陰様で11周年目を迎えます。今年も受講生が期待できるテーマを準備して引き続き開催致します。

[LINE@公式アカウント紹介企画](#)